

学校評価アンケート（保護者の皆様）のご意見に対する回答

鳥取工業高等学校

保護者の皆様へ

学校評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。今後の本校教育に活用させていただきます。

なお、皆様からいただきましたご意見について、下記のとおり回答します。

今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

1 生徒と教員とのかかわりについて

「先生方に息子のことで色々と力になって頂き、常に親身になって相談等やアドバイスしていただき感謝しかありません。ありがとうございます。」「子供が楽しく学校生活を送っているのも、先生方には感謝しています。いつもありがとうございます。」「息子はクラス、先生にも恵まれているみたいで楽しく学校へ行っています。ありがとうございます！」「日頃は子どもたちへのご指導ありがとうございます。お世話になっています。」「鳥工の生徒を応援しています。先生方どうぞ宜しくお願いします。」「頑張っても頭が悪い子にももう少し優しくして欲しい。」「若い先生への社会人としての教育研修を実施してください。」「先生に尊厳を奪われて傷つく子がいることをしっかり知って頂き、適切に指導していただきたい。」「先生の立場での意見も大事ですが、それを押し付けるのではなく、まずは子供の意見を聞いてあげてほしい。」との声をいただきました。

「学校評価アンケート」の項目で、「授業に満足している」生徒・保護者は84%、「鳥取工業高校に入学してよかったと思う」生徒は87%と、高い評価をいただいております。また「互いを尊重し合いながら学校生活を送っている」とする生徒・保護者は87~88%と、こちらも高い評価をいただいております。しかしながら、1割を超える生徒・保護者の方は授業に不満を感じておられたり、教員の発言や対応に不信感を持たれたりしたことがあったということを経験された方もおられます。教員の指導が、真に生徒のためのものであり、理解の得られるものであるよう心掛けて参ります。学校の対応でお子さまが困られることがありましたら、学校までお知らせくださいますようお願いいたします。

2 学校のあり方について

「今からでは、我が子にはできないが、入学時から入る科を決めてしまわず、入学後に選べたら良かったのになと感じます。実際、入る前と後では、他の科にも興味があったり自分に合っていたのかも感じているようです。」「今の学校の魅力は何ですか？学校全体の活力が感じられず、生徒を呼び込む魅力に欠けると感じる。」との声をいただきました。

入学時に科を決めることが困難であることに加え、1年時には様々な興味・関心を持つ生徒と一緒に学ぶことで一人一人の視野が広がり、良い効果をもたらすとして、令和7年度入学生からくり募集（4つの科での募集ではなく、工業学科としてひとくりでの募集とする）を行うことが決まりました。

また鳥取工業高校では、最先端分野であるAI実習やドローン実習をいち早く導入し、「鳥工版STEAM教育」（教科横断・教科統合型学習）に取り組む教員も少しずつ増えています。「スーパー工業士」認定制度がスタートし、就職でも進学でも生徒の進路実現を支えるよう、取り組んで参ります。

3 授業について

「おもしろくない授業があると子どもが言っていますので、なるべく生徒が楽しいと思える授業をしていただけるとありがたいです。」「常に変化している世の中の諸業界の実情に対応した指導を望みます。」との声をいただきました。

本校では、教職員間の公開授業や研修等を計画的に実施し、授業改善に向けて取り組んでおります。学校評価アンケートの結果を見ますと、授業に対する生徒の満足度がこの5年間上昇しており、令和元年度の70%から、今年度は84%の生徒が授業に対して肯定的に捉えている状況にあります。とはいえ、工業の専門教科を初めて高校で学ぶ上での難しさもありますので、引き続き、きめ細かな指導に取り組んで参ります。

また、御指摘のとおり、AIの登場や様々な基準の変更など、世の中のあらゆる業界は日々変化しております。世の中の流れや求められている力を見極め、生徒たちが将来立派な社会人として活躍できるよう、全教職員が自己研鑽しながら授業改善等に取り組んで参ります。

4 情報発信について

「自分自身もわかっていませんでしたが、鳥工の良さをもっと発信してほしいです。保護者も頑張ります。」「女子が少なく入学前から入りづらいイメージがあるので、もっとこれからの社会にあった、男女関係なくものづくりが大好きな生徒が入れるようなアピールがあっても良いのではと感じます。パンフレット等でもっと女子の活躍がアピールされても良いかと思います。」「配付プリントの内容を送ってほしいです。出してくれてない事があるので。」との声をいただきました。

本校は、最先端分野であるAI学習やドローン実習などを導入するとともに、STEAM教育(教科横断・教科統合型学習)にも取り組んでおります。また、鳥取県のスーパー工業士認定制度にも参加し、就職・進学とも生徒の進路実現を支える取り組みを進めております。これらの特色ある取り組みについては学校ホームページのほか、各中学校で行われる進学説明会、小・中学校に出向いて行う出前授業、学校案内パンフレット等で紹介しているところですが、今年度、「PTAだより」を生徒たちの活躍がより分かりやすいものにしたり、正面玄関内に大型モニターを設置して学校の特色や生徒たちの活動を紹介する動画を常時流したりしております。どのようなPRが出来るか、今後も引き続き検討して参りたいと思います。

また、配付プリントについてですが、特に重要な文書については、文書を生徒に配付したという旨をマチコミを通じて連絡するように努めておりますので、お子様にご確認いただきますようお願いいたします。

5 生活指導について

「通学している生徒を見ると、8時20分なのに立ち止まってスマホを触っている生徒を見かけたり、JRで通学する生徒何人かが自販機の前で止まって何かしてるのを見ます。その子その子のペースがあるとは思いますが、朝は通勤ラッシュで事故などが起こってもいけないので、もう少しだけキビキビした行動をしてほしいです。」「携帯電話の使用は授業中以外は許可でもいいのではないのでしょうか。状況判断は高校生になれば出来る気がします。敷地内一切禁止で取り締まるからこそ、コソコソ使用するのでは。」との声をいただきました。

本校では、毎朝登校時に生活指導係および全教職員が輪番でJR津ノ井駅から学校までの間で登校指導を実施しております。津ノ井駅前の交通量が多く、また御指摘のような状況の生徒も見られるため、交通指導はもとより挨拶の励行、自転車通学生のヘルメット着用指導等を行い、生徒への声かけに努めております。降雪や積雪等により危険度が増す時期もありますので、更なる注意喚起に努め、安全に通学できるよう指導して参ります。

携帯電話の校内における使用に関しましては、まずは「学校に必要な物は持ってこない」という考えから現在の規則を設けております。校内での使用により指導される生徒の多くは、ゲームや動画視聴によるものです。まさに学校では必要の無い使用だと考えております。学校においては、授業以外の時間も単なる空き時間や休憩時間ではなく、周囲と関わる中で人間性を育む重要な教育活動の時間だと考えております。

6 部活動について

「顧問は部活に対する熱意を持ってほしい。」「高校なので部活動が中学よりもっと活発になるかと思っていたのですが、部によってはそうでもないのだなという印象です。本人も中学から引き続いてやる気もあったので、親としても少し残念な感じです。」「部活の日程などもう少し早めに教えてもらえると助かります。」との声をいただきました。

本校では「健全な心身と社会貢献精神の育成」という重点目標を掲げ、部活動の充実に力を入れているところです。しかしながら、少子化に伴い生徒数が減少し、部員が集まらない部も増えてきております。団体の競技によっては大会に出場できない現状があるのも事実です。そんな中、生徒たちは、日々元気に目標を掲げ部活動に励んでおります。学校としましても外部指導者や部活動指導員の確保など、部活動を通じての体験が生徒にとって自信と成長につながるよう、引き続き取り組んで参りたいと思います。また、部活動の日程については出来るだけ早期の案内をするよう、顧問会で共有したいと考えております。

7 進路指導について

「子供の進路や受験の時に熱心に指導をしてくださってありがとうございました。」「本校に入学して、とても良い高校生活を送らせていただき、感謝しています。資格試験、専門学校の論文、面接ときめ細かく指導していただき、感謝しかありません。」との声をいただきました。

本校では、生徒たちの学びと成長を捉え、夢や目標の実現に向けて寄り添い、校内はもちろん、外部機関や各事業所等とも協力・連携しながら取り組んでいます。

今後も、生徒一人ひとりの進路実現・自己実現に向けて、指導の充実、工夫・改善に学校全体で取り組み、努めて参ります。